

大館能代空港

【実施主体:個社】

大館能代空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	検査会社への委託料の見直し	R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
		休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入	感染症予防および休憩室をより良い環境にするため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	終業時刻の分散化	・職員により通常の終業時刻前に退社できるよう勤務形態(シフト)の工夫を実施。	2024年1月(2023年度)より開始。働く人からは大好評。
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用) 等)	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題についての意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での会社説明会の実施 ・オンライン会社説明会の実施 ・内定者に対する会社見学の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内出身者や圏域出身者の多くは首都圏の大学・専門学校に通っている事に加え、地元採用だけでは優秀な人材の確保が難しい事から東京と仙台で会社説明会を2024年5月に実施した。 ・上記スケジュール調整がつかなかった学生には2024年5月にオンライン会社説明会を実施。 ・内定者に対して会社見学を実施。交通費等は会社負担 	地元以外では、仙台や東京で会社説明会を実施し、大卒者1名の入社予定となっている。(内定は出すものの辞退が多数となっている。大卒者の入社は厳しい状況だが、今回は1名確保となった)内定者や応募があった場合に、対応可能な範囲で職場見学も実施している。

【実施主体:個社】

大館能代空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)			
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入			
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	カスタマーハラスメント対策の推進	同業他社間において、共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
		施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			

【実施主体:個社】

大館能代空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

大館能代空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	接客スタッフの負担軽減	接客していないときに限り、専用の椅子に座れるよう 配備	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明 会 等)	HPを通じた募集告知	R7年度、HPリニューアルに合わせて採用情報を掲載 予定	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた 研修	県主催実務者研修への参加	異業種との交流を深め、様々なディスカッションを通じ たスキルアップ	
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女 性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた 調整			

【実施主体:地方自治体】

大館能代空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	保安検査員在籍者及び入退職者状況の情報共有	空港関係者(地元グラハン会社、検査会社)と保安検査員在籍人数及び入退職状況を月1回程度情報共有している。	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			